



逆瀬台小学校区
10,000人のまちづくり

ゆずり葉だより

編集・発行／逆瀬台小学校区まちづくり協議会（ゆずり葉コミュニティ）事務局・広報（発行部数）4,200部
 〈住所〉〒665-0024 宝塚市逆瀬台6丁目1番1号 宝塚市立逆瀬台小学校内
 〈メール〉yuzurihacom@a.zaq.jp
 〈掲示板〉http://8507.teacup.com/yuzuriha/bbs (自由投稿版)
 〈ブログ〉http://www.voluntary.jp/weblog/myblog/230
 〈ホームページ〉http://yzrh.exblog.jp/ (TEL/FAX) 0797-73-8839

でく、い、
健明るい
樂しみづくり
まちづくり



ゆずり葉コミュニティ
ブログ・QRコード

新春 第106号



謹賀新年
今年もよろしくお願ひいたします。



ゆずり葉コミュニティ 会長 石谷清明

逆瀬台小学校区地域にお住いの皆様、昨年は、「ゆずり葉コミュニティ」に一方ならぬご協力とご支援を頂き、誠にありがとうございました。

お陰様で、コロナ禍でも最低限やらなければならぬ議案を決議することができました。ただし、会議は5回のうち3回が書面表決になり、開催は2回だけでした。5役会は6回のうちリモート会議を3回行いました。

また、コロナ禍での活動事例は

1、当地域の活性化の原動力である各活動団体への助成金交付。
2、「まちづくり計画」の最優先課題の解決へ向けての話し合い。

3、12月19日(日)には、「福祉ネットワーク会議」を開催。「子どもたちを、地域と学校が協働して育むための【ミニミニティ・スクール】について、関連団体が集まり話し合いました。

4、今年(令和4年度)は、最重要課題の「防災」について、各自治会・管理組合の自主防災組織間での話し合いの場を作り、情報交換会を開催いたしました。(P2参照)

5、当地域の高齢化率は、益々高くなりつつあります、「見守り」についても、課題解決をするための話し合いの場を企画します。

【計報】井笠相談役におかれましては、この原稿を執筆された後、令和3年11月20日(土)に、ご逝去になりました。心からご冥福をお祈りいたします。そして、最後まで地域に貢献されましたことに、深く感謝申し上げます。

(石谷)

事務局長(グリーンハイツ自治会) 濱崎史孝
新年あけましておめでとうございます。
新たな令和4年の初春をお迎えになられた事

づくり」(各活動団体支援)、「防災」(情報交換会)、「健康」(コードマップ活用)等をスローイングに活動を推進して参ります。

今年も、昨年同様「ゆずり葉コミュニティ」へご指導ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

以上、「見守り」(高齢者・子ども)、「居場所づくり」(各活動団体支援)、「防災」(情報交換会)、「健康」(コードマップ活用)等をスローイングに活動を推進して参ります。

ゆずり葉コミュニティ会員の皆さま、令和4年新年明けましてお目出度うございます。

会員の皆さまには、お健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

さて、私事ですが、私は平成7年にゆずり葉コミュニティ発足当時は、北逆瀬台地区選出の役員として、その後は逆瀬台自治会選出の役員として、更にその後はミニミニティの相談役として26年間歴代の会長や役員の皆さんと共にゆずり葉コミュニティの充実と発展のために微力ながら力を注いで参りましたが、此の度高齢とそれに伴う体力の劣化が甚だしいため辞任する決意を固めました。長年にわたり私がときを種々ご活用下さいました関係先の皆さんには、本当に心から感謝申し上げますと共に、今後とも一層のご厚誼ご鞭撻を心からお願い申し上げる次第でございます。最後になりましたが、ゆずり葉コミュニティの今後益々のご発展と皆さまのお幸せを心から祈念して辞任のご挨拶とさせていただきます。

さて、私事ですが、このゆずり葉地域に住んで35年経過しました。最初の10年は阪急逆瀬台マンションアーバルデ、その後光ガ丘で25年となります。これまでの人生の半分をこの地域で過ごしたことになります。山あり、川ありで緑豊かなこの地域は四季をいち早く感じることのできる防災に関しては地域全体で対応すべき喫緊の課題だと認識しています。

「災害は忘れた頃に襲われる」阪神淡路大震災から四半世紀が過ぎ震災を知らない人達がミニミニティにも増えています。

東日本大震災以降いつ南海トラフが動くか今

の今大地震になつても不思議でない時代に差し掛かっています。

まずは「自分の命は自分が守る」自分の身を守ることで家族を助け・地域を助ける事になると認識を新たにして頂けるよう皆様と一緒に活動する年にしたいと願い年頭の挨拶といたします。

最後に2022年がコロナ過克服し、これまでの普通の生活を取り戻せる日が来る

ことを、またゆずり葉地域の皆様にとって良い年にになりますことを心よりお祈り申し上げます。

活動支援局長(光ガ丘自治会) 中村恭典

ゆずり葉コミュニティにお住まいの皆様、新年あけましておめでとうございます。

活動支援局長の光ガ丘自治会長の中村恭典です。

ゆずり葉コミュニティの今後益々のご発展と皆さまのお幸せを心から祈念して辞任のご挨拶とさせていただきます。

特命部長(逆瀬台自治会) 久保英信

明けましておめでとうございます。

コロナ禍は昨年の秋も深まつ頃に緊急事態が解除になりましたが、生活に少し安堵感を感じましたが、足かけ3年目に入り皆さまにはいかがお過ごしでしょうか。特命部長を仰せつかりました久保と申します。昨年から逆瀬台自治会会長の任に就いたことから当協議会に参画させていただいています。

取り組んでまいります。先ずは当協議会の運営を理解し、個別の自治会の枠を超えて検討が必要な共通の課題に解決の道筋を見つけることができればと思います。そして地域全体の課題、個別の自治会活動にバックアップが必要な場合の支援、逆瀬台小学校を核に交流の促進などの活動を通して温かく住みやすい地域の形成を皆様のご支援と共に頑張つてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

をお喜び申し上げます。

昨年は世界中がコロナ感染症の為に暗くつらい一年で五役会役員の一人として皆様のお役に立てる事業が出来ず心苦しく思っています。

本年はコロナ感染症対策をも考慮しながら皆様とともにすばらしい「ゆずり葉コミュニティ」を育て伸ばしていくように精進したいと考えています。

さて、私事ですが、このゆずり葉地域に住んで35年経過しました。最初の10年は阪急逆瀬台マンションアーバルデ、その後光ガ丘で25年となります。これまでの人生の半分をこの地域で過ごしたことになります。山あり、川ありで緑豊かなこの地域は四季をいち早く感じることのできる恵まれた環境ではないかと思います。これからもこの地を終の棲家とし、「住んで良かった、これからも住み続けたい街」であり続けて欲しいと願います。

最後に2022年がコロナ過克服し、これまでの普通の生活を取り戻せる日が来るのを、またゆずり葉地域の皆様にとって良い年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

最後に2022年がコロナ過克服し、これまでの普通の生活を取り戻せる日が来るのを、またゆずり葉地域の皆様にとって良い年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

最後に2022年がコロナ過克服し、これまでの普通の生活を取り戻せる日が来るのを、またゆズり葉地域の皆様にとって良い年になりますことを心よりお祈り申し上げます。

